

平成20年度特別支援教育研究センター事業報告

1. 研究開発機能

1) 現職教員研修システム開発研究

2) 文部科学省拠点システム構築事業「国際教育協力イニシアティブ」

①派遣隊員へのニーズ調査の実施

②海外現地サポート 12月16日～12月20日 マレーシア

マレーシア教育省とのセミナーの共催、施設見学、隊員サポート、隊員勉強会等

③文部科学省・筑波大学国際教育協力シンポジウム 1月10日

開発途上国における派遣現職教員の活躍－帰国隊員報告会－にて報告

「障害児教育分野における青年海外協力隊派遣現職教員サポート体制の構築」

④国際教育協力イニシアティブ教育協力拠点形成事業シンポジウムの開催 2月22日

⑤メーリングリストおよび専用ブログの開設

⑥派遣隊員のためのDVD（日本国における社会への移行を支える教育）作成

⑦青年海外協力隊現職教員特別参加制度ハンドブック「世界に羽ばたけ日本の障害児教育の力」作成

3) 連携研究

①知的障害特別支援学校における重複障害児への認知学習プログラムに関する研究

（附属大塚特別支援学校・附属桐が丘特別支援学校）

②視覚障害教育で開発された教育的アセスメント・教材教具等を見えにくさのある肢体不自由児へ適用し、有効性を検証する

（附属桐が丘特別支援学校・附属視覚特別支援学校）

4) 助成研究

①「音声再生システム」sound reader で可能となる「新しい教育実践活動」

（附属大塚特別支援学校）

②自閉症児における社会的認知発達支援プログラムの開発に関する研究

（附属大塚特別支援学校）

③通常学級支援のための特別支援学校における教材教具ライブラリーの設置について

（附属桐が丘特別支援学校）

5) 外部資金導入研究

①科学研究補助金基盤研究－B（平成18～20年）

「特別支援教育体制における盲・聾・養護学校のセンター的機能の確立・発展に関する研究」

研究代表者：前川 久男

・研究1 乳幼児期・幼児期における障害の発見およびフォローアップシステムとしての発達支援・家族支援の体系化に関する研究

・研究2 幼児期・児童期における軽度発達障害児の発見・評価のシステムと支援プログラムの開発に関する研究

②文部科学省拠点システム構築事業「国際教育協力イニシアティブ」（平成18～20年）

「障害児教育分野における海外青年協力隊派遣現職教員サポート体制の構築」

事業代表者：藤原 義博

2. 教員研修機能

1) 現職教員研修関係 開講式・中間発表・修了式

2) 免許法認定公開講座 平成20年7月28日～8月6日

全11講座

「特別支援教育の基礎理論」「視覚障害の理解」「聴覚障害の理解」「知的障害の理解」

「肢体不自由の理解」「視覚障害の指導法」「聴覚障害の指導法」「知的障害の指導法」

「肢体不自由の指導法」「重複障害・軽度発達障害の教育」「障害児の心理・生理・病理・教育課程・指導法論」

のべ受講者数 905人 のべ単位取得者数 887人

3) 次年度現職教員研修についての検討

海外の学校等に在籍する教員の受け入れを想定しての特別支援教育研究センター現職教員研修実施要項の改訂

4) 次年度免許法認定公開講座の企画検討

3. 理解啓発・交流機能

1) センター主催セミナー開催

シリーズ：特別支援教育の発進（3）

3月27日 東京キャンパスG501

講演「学習指導要領改訂にあたって」、筑波大学附属学校間連携研究報告

2) 研究交流セミナー開催

障害科学系との共催

1月7日 東京キャンパスG501

テーマ「筑波大学が取り組むべき特別支援教育の課題」

3) 講演とシンポジウム「乳幼児における障害の発見とフォローアップ体制の構築」

(科研の報告会を兼ねての開催)

1月10日 東京キャンパスG501

4) 「筑波大学特別支援教育研究 第3巻」の発刊

5) ニュースレター「SSERC通信」の発行 6月、9月、12月、3月

6) 医療・福祉・保健関係者を対象とした視覚・聴覚障害乳幼児教育相談等の案内リーフレット作成・配布(科研との関係)

7) 後援研修会・研究会

「公開研修 ボランティア養成研修 -知的障害児・者への支援-」

6月15、24、25日、7月2、9日、8月24日、9月6日、10月19日

附属大塚特別支援学校

「特別な支援を必要とする子どもの理解と保育-実技と演習-」

8月1、2日 附属大塚特別支援学校

「公開セミナー 自閉症児の地域社会への自立へむけて～家族の支援、学校教育の在り方を考える～」

12月6日 附属久里浜特別支援学校

「第9回自立活動研究フォーラム」

8月21日 自立活動研究ネットワーク事務局

「点字で学ぶ児童生徒への指導-試験問題の作成及び解答指導の内容についての検討」

1月24日 附属視覚特別支援学校

「筑波大学特別支援教育研究」編集規定

- 第1条 筑波大学特別支援教育研究センター（以下「センター」という。）は、研究誌を発行し、筑波大学特別支援教育研究（以下「研究誌」という。）と称する。
- 第2条 研究誌は、原則として年1回発行する。
- 第3条 研究誌には、学術論文、実践報告、特集およびセンターセミナー報告、センターの事業報告を掲載する。学術論文は特別支援教育に関する未公刊の研究論文とし、別に定める研究誌執筆要綱に従って執筆する。
- 第4条 前条の論文等の筆頭執筆者は、センターに籍を有する教員、附属学校教員、研修修了生および障害科学系と附属学校教育局教員、および、その研究がセンターの事業に関与したと次条に規定する編集委員会が認めた者とする。
- 第5条 研究誌の審査・編集のため、編集委員会（以下「委員会」という。）をおく。
- （2）委員会には委員長を置き、センター長をもってあてる。
- （3）委員長はセンター運営委員のうちから若干名の委員を指名し委員会を組織する。
- 第6条 編集事務を担当するために、編集幹事（若干名）を置く。
- （2）編集幹事は、センター教員のうちから委員長が指名する。
- 第7条 研究誌に掲載を希望する者は、論文等を委員会に送付するものとする。
- （2）投稿された論文等の採否は、委員会の合議によるものとする。
- （3）委員会は、投稿された学術論文の審査について、必要があると認めるときは、編集委員以外の者に査読を依頼することができる。
- 第8条 採択された論文等の形式、内容について、委員会において添削をすることがある。ただし、内容に関して重要な変更を加える場合は、執筆者との協議を経るものとする。
- 第9条 研究誌に掲載されたものは無断で複製あるいは転載することを禁じ、著作権はセンターに帰属するものとする。

附則：この規定は、平成18年2月1日から施行する。

附則：この規定は、平成20年3月1日から施行する。

平成20年度 特別支援教育研究センタースタッフ

センター長	藤原	義博
教授	安藤	隆男
教授	長崎	勤
助教	左藤	敦子
教諭	星	祐子
教諭	庄司	和史
教諭	瀬戸口	裕二
教諭	松原	豊
教諭	島山	和也

平成21年度 特別支援教育研究センタースタッフ

センター長	藤原	義博
教授	安藤	隆男
教授	長崎	勤
助教	左藤	敦子
教諭	星	祐子
教諭	日高	雄之
教諭	野村	勝彦
教諭	城戸	宏則
教諭	島山	和也

平成20年度 特別支援教育研究センター運営委員会委員名簿

氏 名	職 名	適 用 条 項
藤 原 義 博	特別支援教育研究センター長	第5条第2項第1号(官職指定)
石 隈 利 紀	附属学校教育局次長	第5条第2項第2号(官職指定)
安 藤 隆 男	教 授	第5条第2項第3号
長 崎 勤	教 授	〃
(藤 原 義 博)	教 授	〃
左 藤 敦 子	助 教	〃
星 祐 子	教 諭	〃
庄 司 和 史	教 諭	〃
瀬戸口 裕 二	教 諭	〃
松 原 豊	教 諭	〃
畠 山 和 也	教 諭	〃
引 田 秋 生	附属視覚特別支援学校長	第5条第2項第4号(官職指定)
四日市 章	附属聴覚特別支援学校長	〃
柳 本 雄 次	附属大塚特別支援学校長	〃
(安 藤 隆 男)	附属桐が丘特別支援学校長	〃
西 川 公 司	附属久里浜特別支援学校長	〃
今 井 二 郎	附属聴覚特別支援学校副校長	第5条第2項第5号(センター長指定)
神 田 基 史	附属大塚特別支援学校副校長	〃
河 内 清 彦	障害科学系長	第5条第2項第6号(センター長指定)
中 田 英 雄	教育開発国際協力研究センター長	〃
篠 原 吉 徳	附属学校教育局教授	〃
廣 瀬 豊	附属視覚特別支援学校副校長	〃
吉 沢 祥 子	附属桐が丘特別支援学校副校長	〃
倉 見 昇 一	附属久里浜特別支援学校副校長	〃

平成20年度 特別支援教育研究センター5部門会議構成員

附属視覚特別支援学校	浅野 慎子, 丹治 達義, 雷坂 浩之
附属聴覚特別支援学校	大竹 一成, 松本 末男, 佐藤 幸子
附属大塚特別支援学校	安部 博志, 高橋 幸子, 安川 直史
附属桐が丘特別支援学校	城戸 宏則, 田丸 秋穂
附属久里浜特別支援学校	河戸 初枝, 佐藤 みほの

* 5部門会議メンバーにはセンタースタッフが含まれる。